

科学技術外交の推進に関するワーキンググループについて

平成19年6月7日

基本政策推進専門調査会

1. 主旨

第66回総合科学技術会議における有識者議員からの提言を踏まえ、今後、我が国の科学技術力を最大限に活用して持続可能な社会の実現に向けた世界の諸課題に積極的かつ継続的に取り組みつつ、我が国のソフトパワーを高めるとともに、研究協力や技術協力を外交と連携させ、科学技術外交を推進するため、基本政策推進専門調査会の下に、科学技術外交の推進に関するワーキンググループ（科技外交WG）を設置する。

2. 検討内容

科学技術外交を推進するための方策案について検討する。

当面、2008年の北海道・洞爺湖サミット開催を視野に入れて、第66回総合科学技術会議に有識者議員から提言された各種の構想の具体化を図ることを目指す。

3. メンバー

	相澤	益男	総合科学技術会議議員
座長	薬師寺	泰蔵	総合科学技術会議議員
	郷	通子	総合科学技術会議議員

(その他の議員については、アドバイザーとして、随時参加。)

	北城	恪太郎	日本アイ・ビー・エム(株)最高顧問
	草野	厚	慶應義塾大学教授
	竹内	佐和子	京都大学客員教授
	田中	明彦	東京大学大学院情報学環教授、東京大学東洋文化研究所教授
	山本	正	(財)日本国際交流センター理事長

(合計 8名)

4. 当面のスケジュール(案)

19年 6月7日 基本政策推進専門調査会において、科技外交WGの設置を決定

6月～8月 2～3回程度の会合を開催(20年度概算要求に係る検討)

(8月末 20年度概算要求の提出)

9～翌年6月頃 適宜、数回の会合を開催(北海道・洞爺湖サミットに向けた検討)

20年 7月 北海道・洞爺湖サミット